

ポゼッション率が勝敗に及ぼす影響について

二戸 将 (競技スポーツ学科 コーチングコース)

指導教員 松田 保

キーワード：ポゼッション率・勝敗・影響

1 緒言

現代サッカーは、スペイン代表が 2010 南アフリカワールドカップで圧倒的なボールポゼッション率の高さで優勝した。その結果、ポゼッションサッカーが世界の主流になっている。

ポゼッションサッカーとは、ボールを支配してゴールに向かっていくことである。常に相手を押し込んだ状態でボールを保持し、試合をコントロールすることが可能になるという戦術である。

現代は、ポゼッションサッカーの戦術が主流になっている。しかし、ポゼッションサッカーの逆をとる、カウンターサッカーという戦術がある。カウンターサッカーとは、ポゼッションサッカーとは違って、ボール保持率が低く、相手チームのボールを奪ってから敵チームの守備が整わない間にロングパスとショートパスなどを使い、少ない回数のパスで素早くゴールに向かって攻めきる戦術である。

そこで本研究は、ボールポゼッション率が高く勝利した試合数と、ボールポゼッション率が低く勝利した試合数と引き分けの試合数を調査し、ボールポゼッション率が勝敗に影響しているか目的とする。

2 研究方法

2010-2011 シーズン UEFA チャンピオンズリーグ決勝トーナメント全 29 試合を検証し、ポゼッション率が高いチームかポゼッション率が低いチームのどちらが試合の勝敗に影響しているのか試合データを調査する。

3 結果、考察

2010-2011 シーズン UEFA チャンピオンズリーグ決勝トーナメント全 29 試合

- ① 14 試合ポゼッション率が高いチームが勝利。
- ② 9 試合ポゼッション率が低いチームが勝利。
- ③ 6 試合引き分け。

相手チームに思ったような試合運びをさせず、試合の主導権を握った状態で相手チームにボールを長い時間追わせ、体力を消耗させ試合を有利に運んで行くので、ボールポゼッション率が高いチームが勝利に影響するのであると考える。

4 結論

本研究によると、ポゼッション率が高ければ、相手自陣に攻め込む時間が長くなるといえる。また、試合をコントロールできるようになり、ポゼッション率が高いチームが勝利に近づけるといえる。

その結果、ポゼッション率が勝敗に及ぼす影響は、ポゼッション率が高いと勝利する確率が高くなるといえる。

5 参考文献

欧州サッカー公式ウェブサイト
<http://jp.uefa.com/index.html>
(取得日 2011 年 5 月 10 日)

スポーツナビ
<http://sportsnavi.yahoo.co.jp>
(取得日 2011 年 5 月 25 日)